

# 平成23年度（平成23年4月～平成24年3月） 渡島管内観光入込客数調査

渡島総合振興局 産業振興部 商工労働観光課

「観光入込客数調査」について  
道における観光入込客数調査は、「観光入込客統計に関する共通基準」（H21年12月、観光庁）を踏まえ、平成22年2月に制定した「北海道観光入込客数調査要領」（H9年1月制定に準ずる）に基づき実施しています。

＜調査対象市町村＞  
本調査は、全道の市町村を対象に調査しています。

＜実人数＞  
1人の観光客が1回の旅行で複数の観光地点を訪れても1人と算出します。  
1人の観光客が1回の旅行で宿泊施設に2泊以上滞在しても1人と算出します。

＜総数＞  
市町村の実人数の単純合計です。（実人数に対して、延べ人数となっています。）

## 1 概況

- (1) 平成23年度(平成23年4月～平成24年3月、以下同様)の渡島管内の観光入込客数の総数は、約919万8千人で、前年度より約34万人1千人減、対前年比で96.4%となっており、前年度を3.6%下回りました。

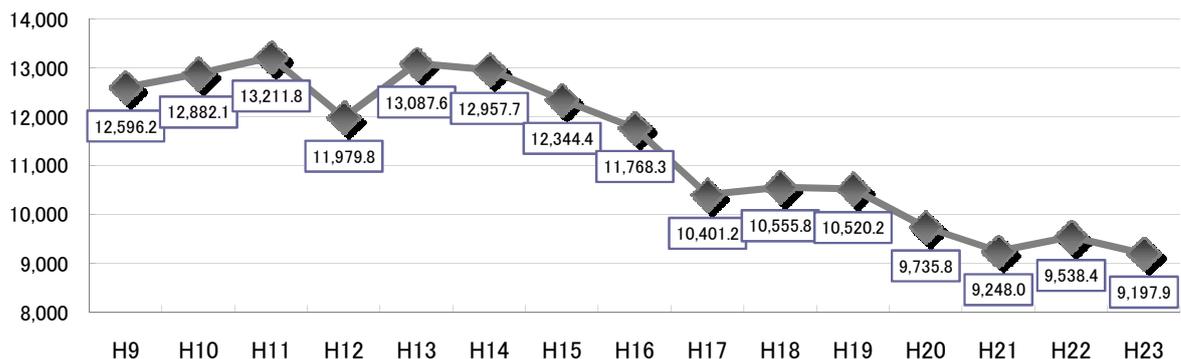
(単位：千人)

平成23年度	平成22年度	増減	対前年比
9,197.9	9,538.4	▲ 340.5	96.4%

- (2) 主な要因としては、東日本大震災の影響により、道外・外国人客を中心に入込客数の大きな落ち込みが見られた一方で、7月以降に関しては、主に道内観光客の入込が前年度以上に増加しており、震災直後の減少の影響が低減されたと考えられます。
- (3) 月別では、4～6月においては、前年度に比べ、約51万5千人の減少（前年比マイナス17.0%）となったものの、7～3月においては、約17万5千人の増加（前年比プラス2.7%）となりました。これは、震災当初の自粛ムードが緩和したことに加え、道内客が大きく増加したことが要因として考えられます。
- (4) 道内・道外観光客別では、道外観光客が約40万6千人の減少（前年比マイナス8.6%）であったのに対し、道内観光客は約6万6千人の増加（前年比プラス1.4%）となりました。  
この要因として、震災前には東北地方を訪れていた道内の学校の修学旅行先が、道内に振り替えられたことに加え、観光客が広範囲に周遊する傾向が高まったことが考えられます。

## 観光入込客数経年推移

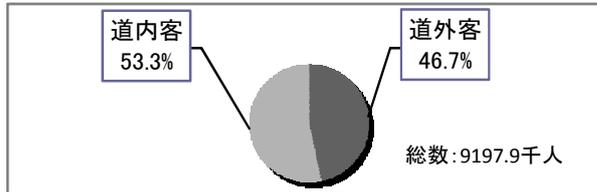
(単位：千人)



## 2 道外客・道内容の状況

観光入込客数の総数 9,197.9 千人に占める道外客・道内容の状況は次のとおりです。  
(単位：千人)

	平成23年度	平成22年度	対前年比
道外客	4,296.1	4,702.3	91.4%
道内容	4,901.8	4,836.1	101.4%



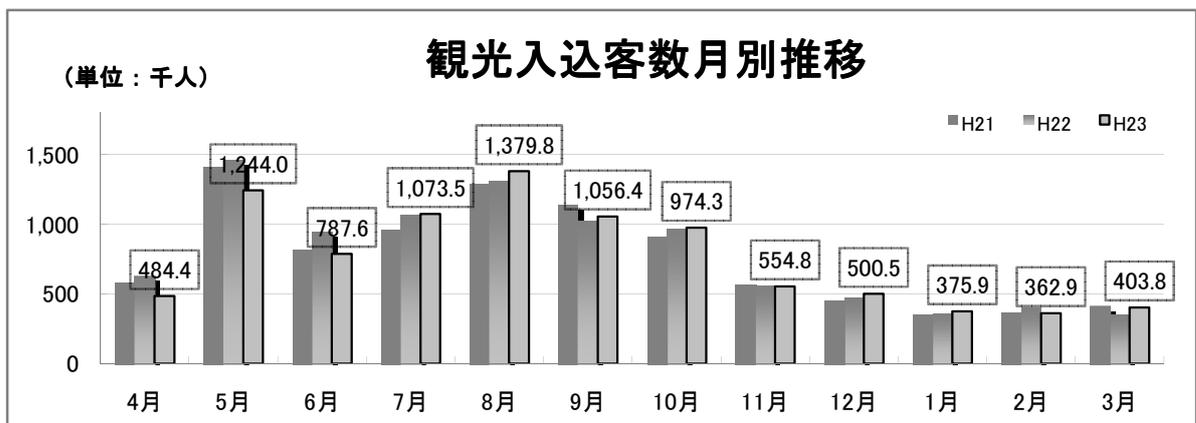
## 3 月別の推移

4-6月および2月が大きく減少しています。この原因として、4-6月は東日本大震災による影響、また2月に関しては大雪の影響のためと考えられます。

また、3月の渡島管内の入込客数は、前年3月に比べ16.3%増加となりましたが、これは震災前の平成22年3月とほぼ同じ入込客数となっています。

(単位：千人)

	平成23年度	平成22年度	対前年比
4月	484.4	627.5	77.2%
5月	1,244.0	1,460.3	85.2%
6月	787.6	943.7	83.5%
7月	1,073.5	1,065.1	100.8%
8月	1,379.8	1,309.5	105.4%
9月	1,056.4	1,022.7	103.3%
10月	974.3	967.5	100.7%
11月	554.8	560.2	99.0%
12月	500.5	471.7	106.1%
1月	375.9	362.3	103.8%
2月	362.9	400.5	90.6%
3月	403.8	347.2	116.3%
年度計	9,197.9	9,538.4	96.4%

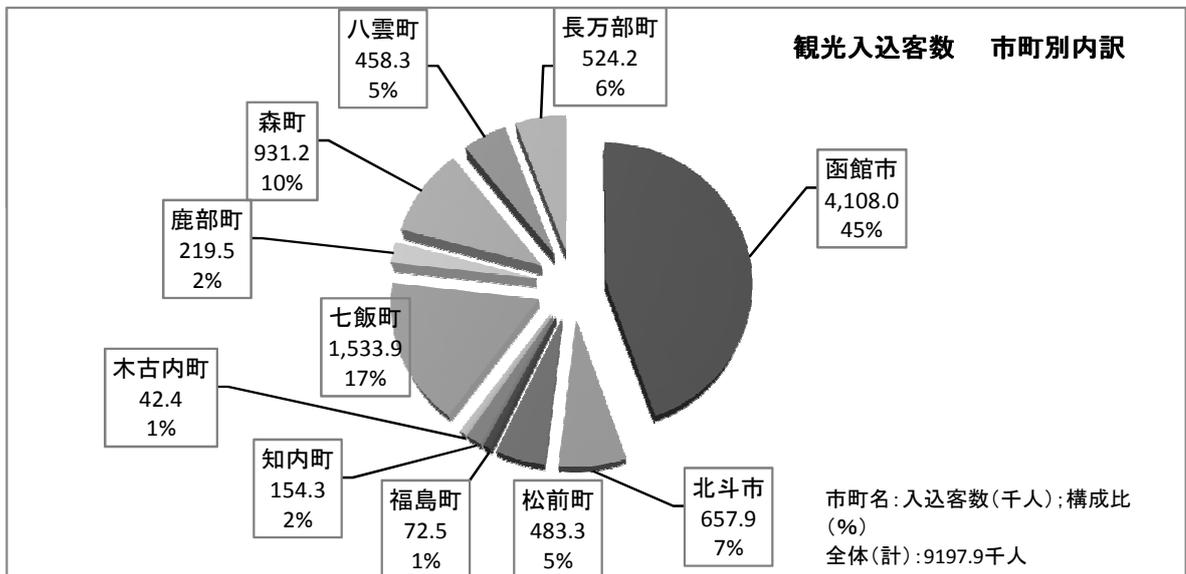


#### 4 市町別の状況

函館市、七飯町など4市町が前年度に比べ減少しましたが、7市町は増加しました。これは、東日本大震災の影響により、有名観光地を有する函館市や七飯町などで入込客数が減少した一方、観光客が広範囲にわたって周遊することにより、周辺地域の入込客数が増加したことが考えられます。

(単位：千人)

市町名	平成23年度	平成22年度	増減人数	対前年比
函館市	4,108.0	4,586.2	▲ 478.2	89.6%
北斗市	657.9	643.0	▲ 14.9	102.3%
松前町	483.3	503.6	▲ 20.3	96.0%
福島町	72.5	64.6	▲ 7.9	112.2%
知内町	154.3	137.8	▲ 16.5	112.0%
木古内	54.9	42.4	▲ 12.5	129.5%
七飯町	1,533.9	1,578.7	▲ 44.8	97.2%
鹿部町	219.5	189.8	▲ 29.7	115.6%
森町	931.2	762.3	▲ 168.9	122.2%
八雲町	458.3	509.5	▲ 51.2	90.0%
長万部町	524.2	520.4	▲ 3.8	100.7%



平成23年度 渡島管内各市町観光客入込状況

(単位：「上段」千人 「下段」対前年度比%)

市町名	入込数	内 訳				主 な 増 減 要 因 等
		道外客	道内客	日帰客	宿泊客	
函館市	<b>4,108.0</b>	<b>2,601.2</b>	<b>1,506.8</b>	<b>1,368.3</b>	<b>2,739.7</b>	国内における観光の自粛や原発事故の風評被害などにより、入込客数が大幅に減少したが、海外からのチャーター便の回復、修学旅行の誘致などで8月には回復傾向となった。下期においては、函館市縄文文化センターのオープンを始め、全国産業観光フォーラムなどの開催により昨年並に推移している。2月に関しては、大雪の影響により入込が減少した。
	89.6	85.7	97.1	80.9	94.6	
北斗市	<b>657.9</b>	<b>27.9</b>	<b>630.0</b>	<b>638.4</b>	<b>19.5</b>	震災の影響により、道外客が減少したが、道内客がそれ以上に増加したため、対前年度比で2.3%の増加となった。
	102.3	76.2	103.9	103.3	77.4	
松前町	<b>483.3</b>	<b>100.8</b>	<b>382.5</b>	<b>430.0</b>	<b>53.3</b>	桜の開花もほぼ予想通りとなったことで、春季の入込客数は若干例年を上回った。また、秋季についても、マグロ祭りのPRに力を入れたことなどから、前年の入込客数を上回った。しかし、それ以外の時期に関しては、回復力の乏しい状態が続き、通年では、対前年比96.0%となった。
	96.0	95.2	96.2	96.0	96.0	
福島町	<b>72.5</b>	<b>7.1</b>	<b>65.4</b>	<b>70.2</b>	<b>2.3</b>	5月は例年開催している女相撲大会が中止となり、1割以上の減少となったが、7・8月は「海峡横綱ビーチ」のオープンがあり、対前年比5割～7割の増加となった。下半期についても、ほぼ前年と同程度に推移し、平成23年全体では、対前年度比で12.2%増加した。
	112.2	120.3	111.4	112.3	109.5	
知内町	<b>154.3</b>	<b>44.0</b>	<b>110.3</b>	<b>139.7</b>	<b>14.6</b>	年間を通じて、遠出を控え近場に観光する傾向があったものと見られ、入込客数は増加した。また、取り扱い商品の充実から道の駅しりうち来館者数が増加した。
	112.0	110.8	112.4	112.0	111.5	
木古内町	<b>54.9</b>	<b>4.2</b>	<b>50.7</b>	<b>53.3</b>	<b>1.8</b>	少年野球等のスポーツ体験開催が増加したことや、体験観光の参加者が増加したことから、入込客数が対前年度比で約30%増加した。
	129.5	200.0	125.8	130.3	120.0	

※下段は対前年比

市町名	入込数	内 訳				主 な 増 減 要 因 等
		道外客	道内客	日帰客	宿泊客	
七飯町	<b>1,533.9</b>	<b>1,076.9</b>	<b>457.0</b>	<b>1,468.4</b>	<b>65.5</b>	5月の大型連休を境目として、道内客を中心に緩やかに回復し、7月から9月においては、前年より増加した。しかし、4月から6月の大幅減少を補いきれず、上半期91.2%となった。 下半期においても、回復傾向が続き、2月には大雪の影響から入込が減少したものの、下半期107.2%となった。平成23年度全体では、前年度比97.2%となった。
	97.2	103.2	85.5	96.7	109.2	
鹿部町	<b>219.5</b>	<b>13.3</b>	<b>206.1</b>	<b>168.5</b>	<b>50.9</b>	8月開催のしかべ海と温泉のまつりの、入込11,000人増加、下半期鹿部ロイヤルホテル7000人増加などがあり、対前年度比で15.6%の増加となった。
	115.6	56.8	123.9	106.4	162.1	
森町	<b>931.2</b>	<b>126.6</b>	<b>804.6</b>	<b>860.1</b>	<b>71.2</b>	東日本大震災による影響で、主に道内客が道内旅行をする傾向があったこと、加えて学生の研修旅行先の道内への変更も相次いだことから、対前年度比で22.2%増加した。
	122.2	120.1	122.5	122.9	113.7	
八雲町	<b>458.3</b>	<b>120.2</b>	<b>338.1</b>	<b>438.8</b>	<b>19.5</b>	上半期においては、東日本大震災の影響により、パノラマパークのアジア圏からの入込が減少するなど、各施設入込客数が入込が減少したが、下半期においてはほぼ前年度並みに推移した。 平成23年度全体では、対前年度比90%となった。
	90.0	90.9	89.6	90.1	87.1	
長万部町	<b>524.2</b>	<b>173.9</b>	<b>350.3</b>	<b>506.1</b>	<b>18.1</b>	夏季合宿事業増強の成果とまんべくん効果から、震災による観光客の減少をある程度補ったが、1・2月は厳冬から入込客数が減少した。
	100.7	100.9	100.7	100.0	127.5	
合 計	<b>9,197.9</b>	<b>4,296.1</b>	<b>4,901.8</b>	<b>6,141.8</b>	<b>3,056.4</b>	
	96.4	91.4	101.4	96.7	96.0	

※下段は対前年度比